

中国には「三八婦女節」とい  
う祝祭日がある。これは新中国が  
成立してから定められたもので、  
毎年三月八日を「婦女節(婦人テ  
ィ)」と定め、この日は多くの企業  
や機関が女性に限って、一日ある  
いは半日の休みをくれるのである  
。中には、手当てや食品などを  
支給してくれる景気のいいところ  
もある。

そもそも「三八婦女節」の由来  
は、百年程前ニューヨークの女性  
労働者たちが「女性の政治的自由  
と平等」を求めて、闘争運動を起  
こしたことにある。国際社会主義  
者会議では、女性の参政権を世界  
中で実現するのを支援して、闘争  
運動をした三月八日を国際婦人テ  
ィとして提唱し、承認された。

中国では、女性の社会進出を奨  
励するために政府が「婦女能頂半  
辺天(女性が天の半分を支えてい  
る)」というスローガンを出した。  
そのかきがあつて近年、女性の社  
会進出は目覚ましく、働く女性は  
ごく一般的になった。ここ二十年  
程は、バリバリ働いているキャリ  
アウーマンを「女強人」と呼んで  
いる。「女強人」は社会的なり  
ダーとして活躍し、女性市長、女

## 三八婦女節

久場

性幹部、女性企業家の割合も年々  
増えつつある。オリンピックでメ  
ダルを獲得するのも男性よりも女  
性の方が多いと聞く。まさしく、  
女性は社会の進化と成長を支えて  
いるのである。

中国の家庭ではほとんどが男女  
共働きである。女性の活躍や社会  
進出を支えるために、男性も積極  
的に家事育児などを分担する。中  
国内の60%以上の家庭では食事  
は男性が作っている。小皇帝(過  
保護に育った一人っ子)の学校へ  
の送り迎え、市場で野菜などの食  
材を買うのも男性の役目である。  
中国の女性は強いというのが一般  
的な印象ではないだろうか。この  
強さというのは新中国の歴史と共  
に作られてきたものである。一方  
沖繩の女性も元気ではずらつと働  
いている姿をよく目にする。気に  
なるのは行政の支援、男性の支え  
がどうなっているのかという事だ  
である。少子化対策のためにも、女  
性が安心して働ける環境づくりは  
必須であり、男性の家事育児への  
参加は欠かせない。「三八婦女節」  
を過ぎて、中国と沖繩のはさまに  
る者として真の男女共同参画社  
会の実現を切に願う。(会社代表)